

1. 事業の必要性・概要

我が国の大気汚染の状況については、自動車排出ガス規制の強化等、種々の大気汚染防止対策が講じられ、改善傾向にあるものの、大都市市域の一部等においては、環境基準が達成されていない測定局がある。一方、公定サイクルを外れた走行条件や実使用条件において排出ガスが増大する事例も報告されており、今後も引き続き排出ガス規制の強化を検討する必要がある。また、微小粒子状物質（PM2.5）よりも粒子径の小さいナノ粒子や未規制物質についても、排出実態を把握し、必要に応じ対策を検討する必要がある。

自動車交通騒音についても、環境基準の達成状況は概ね横ばいの傾向であり、苦情も後を絶たない状況であるため、自動車単体への騒音規制の強化を検討する必要がある。

2. 事業計画（業務内容）

①自動車次期排出ガス規制策定

自動車排ガス規制については、尿素 SCR システムを搭載するポスト新長期規制適合車における実使用環境下を想定した低速走行時の排出ガス後処理装置の制御及び排出ガスの実態について調査を行い、それをもとに大気汚染の寄与度、効果等を算定する。

②交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査

マフラー性能等確認制度について、市場における同制度により確認を受けた交換用マフラーの装着実態、普及状況を把握し、制度導入の効果について確認を行う。また、新車の騒音試験法の見直しに併せ、マフラー性能等確認制度の騒音試験法の見直しや、更なる騒音対策強化のために、交換用マフラーの性能実態の把握等の検討を行う。

③自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析及び対策策定

- ・ PRTR 法に基づく排出量算出のために必要なデータを測定するとともに、 N_2O （一酸化二窒素）の排出実態及び尿素 SCR システムを搭載するポスト新長期規制適合車から排出される NH_3 （アンモニア）の排出実態を重点的に調査する。
- ・ また、ナノ粒子については重量ベースの計測方法には技術的な課題があ

ることから、粒子数に着目した評価手法を検討する。

- ・ さらに、高度な排出ガス低減技術が導入されたディーゼル車にバイオディーゼル燃料を使用すると、排出ガス低減性能に影響を及ぼす可能性があることから、その影響を調査する。

④NOx 後処理装置の使用過程での性能確保対策策定

- ・ 使用過程の尿素 SCR システムを搭載する新長期規制及びポスト新長期規制適合車の後処理装置を検証し、性能低下の原因究明を行い、対策を検討するとともに耐久性確保のための試験法の見直しの検討を行う。

	26 年度	27 年度	28 年度
自動車次期排出ガス規制策定			
・ 原単位調査	→		
・ 実使用環境下における排出ガス実態調査	→		
交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査			
・ 交換用マフラー騒音性能等調査	→		
・ 現行マフラー性能等確認制度の制度導入効果の確認		→	
自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析及び対策策定			
・ 自動車からの未規制排出ガス・燃料対策関係	→		
・ 自動車からの微小粒子状物質対策関係	→		
NOx 後処理装置の使用過程での性能確保対策策定			
・ 性能低下メカニズムの解明のための調査、検討	→		
・ 後処理装置の性能確保対策の検討		→	

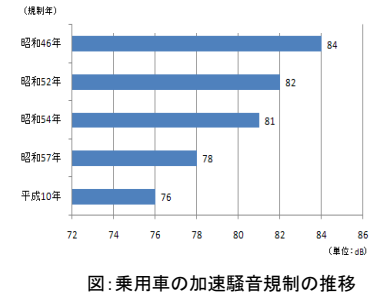
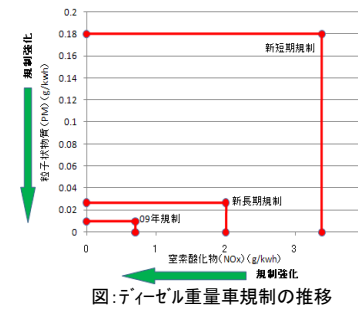
3. 施策の効果

- ・ 実使用環境を考慮した自動車排出ガス・騒音対策等、現行自動車排出ガス
- ・ 騒音規制強化
- ・ 尿素 SCR を搭載した新長期規制適合車への対策や交換用マフラー対策等、使用過程における自動車排出ガス・騒音の低減
- ・ 大気環境等への影響を考慮した未規制の排出ガス・燃料等に対する新たな規制の検討

自動車排出ガス・騒音規制強化等推進費

現状・課題

- 自動車排出ガス・騒音規制の導入及びその強化により環境は改善傾向にあるものの、大気汚染や騒音に係る環境基準が依然として達成されていない状況
NO₂(自排局):99%、騒音(幹線道路):87.6%(H24年度)
- 排出ガス後処理装置等、高度な排出ガス低減技術の導入により排出ガスの性状が変化し、未規制物質が増加する懸念



事業の概要

①自動車次期排出ガス規制策定

- 実使用環境下における排出ガス原単位、大気汚染寄与度・規制による低減効果の調査

②交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査

- 現行マフラー性能等確認制度の制度導入効果の確認
- 交換用マフラーの性能実態調査及び試験法の見直しの検討

③自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析

- PRTR法に基づく排出量算定のための未規制物質調査、排出ガス後処理装置導入に伴うN₂O等調査
- PM個数・成分等調査、粒子数による測定方法の検討
- バイオディーゼル使用時排出ガス調査

④NOx後処理装置の使用過程での性能確保対策策定

- 性能低下メカニズムの解明のための調査、検討
- 性能確保対策の検討

効果

- 実使用環境を考慮した自動車排出ガス・騒音対策等、現行自動車排出ガス・騒音規制強化
- 尿素SCRシステムを搭載する新長期規制適合車への対策や交換用マフラー対策等、使用過程における自動車排出ガス・騒音の低減
- 大気環境等への影響を考慮した未規制の排出ガス・燃料等に対する新たな規制の検討

更なる自動車排出ガス・騒音の低減、環境基準の達成